

これからのこと

動物応用学科 3年海老名健

私は野生動物学研究室に入ったのですから当然動物が好きですが、そのきっかけとなるようなことは特にこれといってなかったと思います。物心がついたときから漠然と生き物が好きで、高校に入って進路のことを考えたとき、自分には学問で生き物に関することしか興味がわからないことに気づきました。そしてそのとき特に興味を持っていた日本のコウモリの多くが絶滅危惧種であることを知り、絶滅危惧種の助けになることをしたいと思い、麻布大学を目指しました。

大学に入り、研究室に少し顔を出すようになり、野生動物に関する活動には絶滅危惧種を保護することだけではなく、生態系全体を守るため増えすぎた動物を管理する必要があることなどを知りました。

三年生になった今、一、二年生のときからやりたいと思っていたコウモリの研究ができそうですが、まず知識が足りません。高校生のときから興味は持っていましたが、市販の本を読んでいた程度なので、コウモリの研究がどのくらい進んでいるのか、またどのような研究がなされていたのか文献を読み進めてみたいと思います。さらにコウモリの活動は夏場活発になり、冬場は冬眠してしまうのでできるだけ早く、調査地を決めてどんどん動いていきたいと思っています。そしてもし調査が難しくなってしまったときのためにほかの新しいテーマを考えなければいけません。未だ右も左もわかりませんがとにかく先輩の助言もいただきましたので早め早めに動いていきたいです。